

災害に強い家造り (岩手県陸前高田市)

暖炉で燃える薪(自然エネルギー)の炎がエコロジーと災害時の暮らしを守ります。それが富士プラント・アルコの技術です。

平成 24 年 11 月改修工事着手



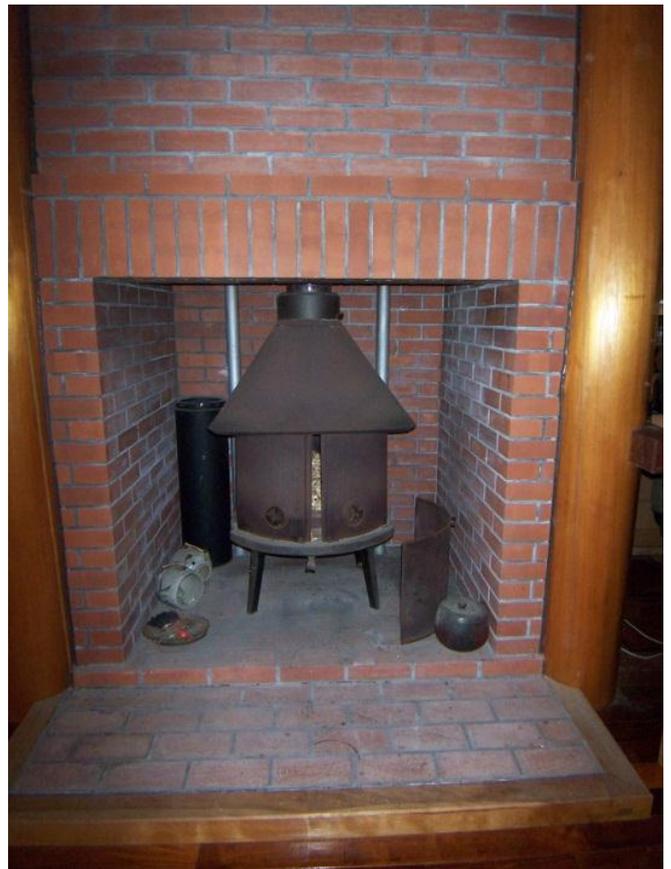
改修工事中の建物(2階部分)の外観

屋根部の構築煙突の下部に暖炉【フレームアート】が設置されます。その暖炉が建物の調理、給湯および全館の床暖房の熱源となります。暖炉は調理や給湯等に日頃から毎日快適に使用する事が大切です。自然エネルギーの利用で経済性や環境好適性が向上します。又、暖炉を毎日使用する事で災害時の生活も日頃と同様の快適な暮らしが得られます。

建物概要（改修工事着手前写真）



既設暖炉（改修工事着手前写真）当社暖炉【フレームアート】に入れ換わります。



既存の居間部分を寝室に変更



断熱材の敷設



床暖房パネルの敷設



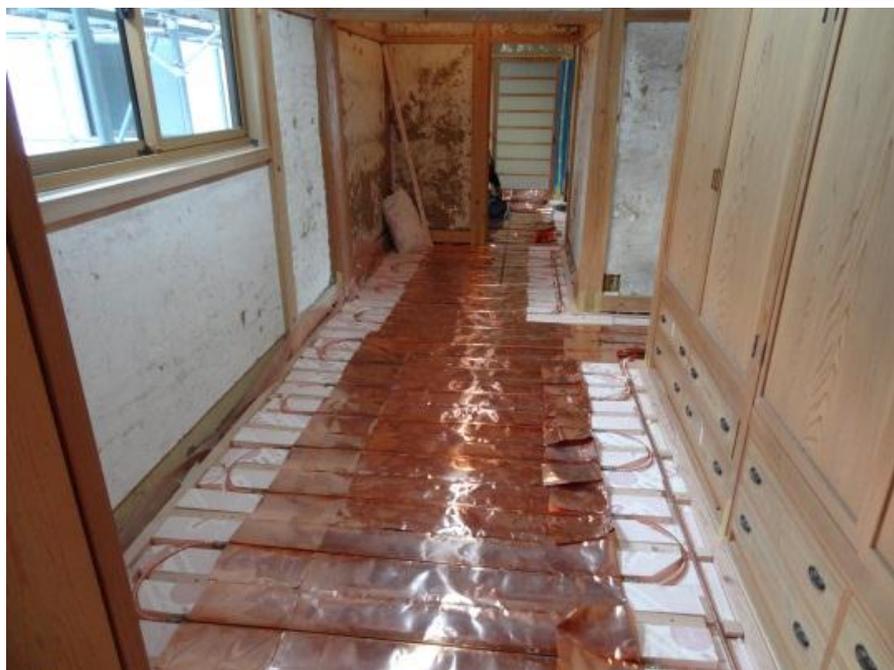
銅製の床暖房パネルは部屋 100%の敷き込。隅々までの敷き込が可能なので部屋全体から輻射熱が発生します。

平成 25 年 2 月 7 日～

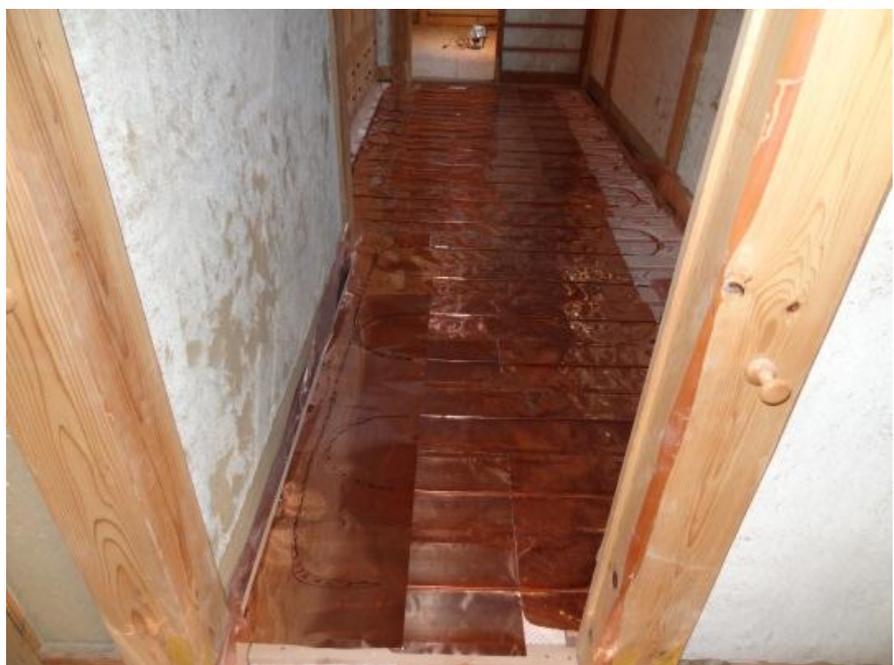
整理室（ウォークインクローゼット）
（大）・（小）



断熱材の敷設



床暖房パネルの敷設
パネルとパネルのジョイントは
ストレートフレキとシマールジョイント
での安心の乾式方法です。
この乾式工法は 38 年間の実績があり、
60 年保証の礎となっています。



床暖房パネルの敷設完了

改修工事 各個室の床暖房パネル敷設作業

富士プラント・アルコの「^{とこだん}常暖パネル」

平成 25 年 2 月 7 日～

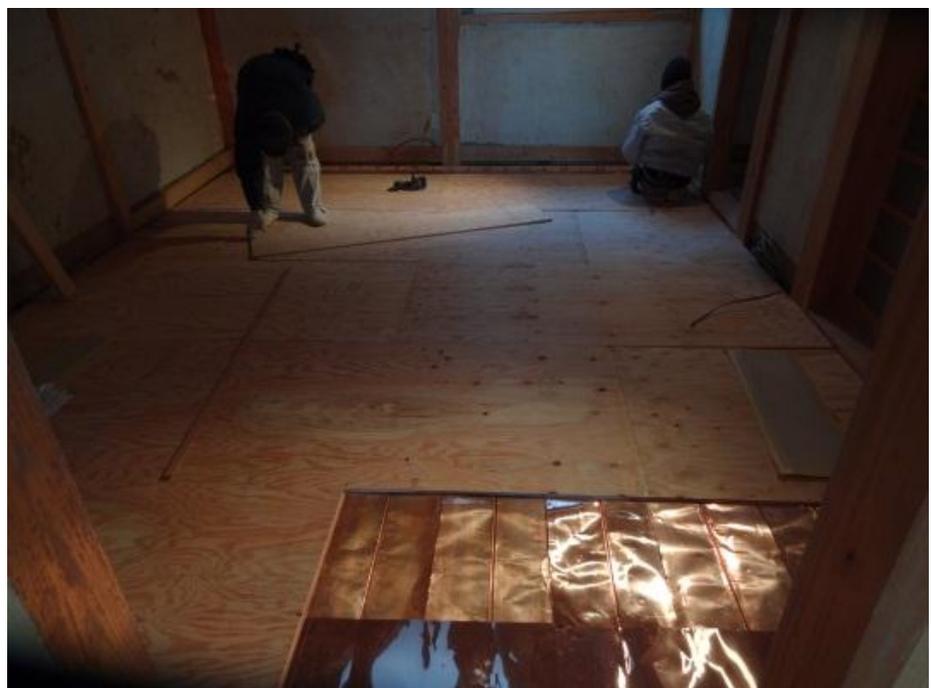
書斎と書庫室

建物の内壁は、すべて竹の木舞（竹小舞）で組んだ本格的な土壁です。
吸湿性、吸放質性、保温性、断熱性に優れ、結露防止にも効果的です。
当社の床暖房は、結露が発生しないので湿気を嫌う書斎や書庫、クローゼットにはもってこいの部屋になります。



床暖房パネルの敷設完了

床の仕上げ材は、厚さ30mmの檜の無垢板です。
この現場では、床の高さ調節のために厚さ12mmの構造用合板を先に敷設します。
床暖房パネル上の床板の合計厚は、42mmになります。
この様な厚みの床仕上げに於いても、当社の床暖房パネルは、十分な暖房効果を発揮します。



平成 25 年 2 月 7 日～

廊下・トイレ



この施工写真は平成 25 年 2 月 12 日までの段階です。

2 月 20 日からは、2F 洗面・脱衣・浴室及び 1F の大広間・玄関ホール等の
施工を予定しています。

暖炉【フレームアート】の設置は、3 月～4 月ごろの予定になります。